

山本 晃之 (ヤマモト テルユキ)

e-mail: t.yamamoto@rs.tusy.ac.jp



【研究内容】

保険薬局を中心とした薬局機能並びに医療安全向上に関わる実務レベルの研究。

【研究目的】

これからの薬剤師を取り巻く環境を想定し、地域包括ケアシステムにおける薬局の機能と薬剤師の役割、地域住民の求める「かかりつけ薬剤師・薬局」になるために必要な資質などを検証すると共に、薬剤師の医療安全向上に関わるツールの開発を行う。

【今後の展開】

薬局薬剤師としての実務経験をもとに、ファーストアクセス（セルフメディケーション、健康支援・相談）、チームアクセス（在宅医療・介護、在宅復帰、QOL 確保、医療安全、コスト適正化）、ソーシャルアクセス（地域活動、県民との協力・啓発、24 時間・災害等体制、学校薬剤師・薬物乱用防止）、ラストアクセス（調剤業務、医療安全、適正使用、コスト適正化）の各領域において必要なデータ等を収集し研究することにより、薬局薬剤師が専門性を発揮できるよう実務レベルの様々な提言を行っていく。

また、薬剤師の実務における医療安全向上に関わるツールの開発を行っていく。

【主な研究テーマ／実績テーマと内容】

- 地域包括ケアシステムにおける薬局の機能と薬剤師の役割について
- 地域住民の求める「かかりつけ薬剤師・薬局」になるために必要な資質と今後の課題
- 後発医薬品推進について
- 薬局薬剤師の疑義照会について
- 医薬品パッケージデザインについて
- 患者用説明ツールの検証および開発

○主な著書・論文

1. 山本晃之, 伊藤奈緒美, 嶋田彩, 高橋祥浩, 富永佳敬, 中野大地, 久井のり子, 藤井晴菜, 小野寺志葉, 原田裕介 (2017) 患者の後発医薬品に対する意識変化と傾向の検討, 薬局薬学, 9: 169-174
2. 山本晃之, 上村直樹 (2017) 疑義照会の内容から見る薬の専門家としての薬局薬剤師の責務, 医薬品情報学, 18(4): 295-300
3. 上村直樹監. 根岸健一編. 謎解きで学ぶ薬学生・新人薬剤師のための処方解析入門 [改訂版]. 株式会社薬ゼミ 情報教育センター, 2018: p. 148-155

【企業との共同研究の実績】